

共同座長：熊野俊三・澤田真也（KEK）

QNP2018 の開催に当たり、RCNP から 50 万円の貴重な補助をいただき、ありがとうございました。当初 120 名程度の参加を予想していましたが、結局 216 名の参加をいただき、大変盛況でした。参加者からは大変良い会議であったとの声を多くいただきました。Proceedings の編集作業がまだ残っていますが、以下に開催内容等の報告をさせていただきます。

1) 研究会タイトル

8th International Conference on Quarks and Nuclear Physics (QNP2018)

2) 研究会のテーマ

広くハドロン物理の課題について議論を行う。特に以下のサブジェクトについてプレナリーおよびパラレルセッションを設け、広くかつ深い議論を目指す。

(ア) Quark and gluon structure of hadrons:

parton distribution functions, generalized parton distributions, transverse momentum distributions, high-energy hadron reactions,...

(イ) Hadron spectroscopy:

heavy quark physics, exotics, N^* ,...

(ウ) Hadron interactions and nuclear structure:

hypernuclear physics, kaonic nuclei, baryon interactions,...

(エ) Hot and cold dense matter:

quark-gluon plasma, color glass condensate, dense stars, strong magnetic field, mesons in nuclear medium, hadronization, ...

3) 世話人全員の氏名・所属

A. Dote (KEK), Y. Goto (RIKEN), M. Harada (Nagoya), A. Hosaka (RCNP), K. Itakura (KEK), H. Kamano (RCNP), S. Kumano (KEK, co-chair), O. Morimatsu (KEK), S.N. Nakamura (Tohoku), M. Naruki (Kyoto), H. Noumi (RCNP), H. Ohnishi (ELPH, Tohoku), K. Ozawa (KEK), H. Sako (JAEA), F. Sakuma (RIKEN), S. Sawada (KEK, co-chair), H. Takahashi (KEK), K.H. Tanaka (KEK), K. Tanaka (Juntendo)

連絡責任者：澤田真也 shinya.sawada@kek.jp

4) 研究会開催場所：つくば国際会議場

5) 研究会開催日：2018 年 11 月 13 日(火)～11 月 17 日(土)

6) 参加者数：216 名

身分内訳：学生 45 名、ポスドク 44 名、スタッフ 127 名

地域内訳：アフリカ 1 名、アジア 162 名（内日本 114 名）、ヨーロッパ 32 名、北アメリカ 16 名、南アメリカ 5 名

7) 発表数：191

内訳：プレナリー23、パラレル 128、ポスター40

8) 資金補助：

RCNP から 499,820 円

新学術領域（量子クラスターで読み解く物質の階層構造）から 500,000 円

J-PARC/KEK から 500,100 円

APCTP から 558,476 円

つくば市から 400,000 円

RCNP からいただいた補助は全額会場費として執行させていただきましたが、一方で、合計 935,000 円を主として大学院生を含む若い研究者への補助に回しました。この若い研究者への補助は RCNP からの補助がなければできなかったもので、感謝しております。

以上